

Project

香川大学教育学部では、未来の「アーティスト」や「科学者」を夢見る子どもたちに、いろいろな体験を通じて大学の良さを知ってもらうために、一日体験入学を企画しています。10月13日に開催した第18回教育学部フェスティバル「未来からの留学生」では、自由参加型講座と事前申込型講座を合わせて26の講座を開講。そのうちの一つ「ふわふわシャボン玉ワールド！」を紹介します。

教育学部 未来からの留学生 ふわふわ シャボン玉ワールド！

教育学部3年 高谷咲衣

ふわふわシャボン玉ワールドは、私たち幼児教育コースの学生が開講している講座です。この講座では毎年普通のシャボン玉、さわれるシャボン玉、身体ごと入ることができる大きなシャボン玉の3つを用意しています。講座の中で私は教える立場ではなく、子どもと同じ目線に立って関わることを意識しています。子どもも学生も関係なく、一緒に泡だらけになりながら遊ぶことで、私自身もシャボン玉の不思議さや面白さに気づき、共に驚いたり感動したりすることができました。子どもたちの中には新しい自由な発想で道具を使わず手でシャボン玉をつくり、遊ぶ姿もあり、その発想の豊かさからシャボン玉の面白さに改めて気づくことができました。子どもたちに刺激を受けるとともに、自由な発想を持った「未来からの留学生たち」の将来の姿を想像してワクワクしました。ここでの経験一つひとつが私たち学生にとっても、子どもたちにとっても素敵な未来につながっていると感じています。全力で遊ぶ経験や一から学生でイベントを創り上げる経験はこれから保育者になる私たちにとって、とても貴重な経験になりました。



普通のシャボン玉。学生が作った針金に毛糸を巻いたものや、うちわなど普段はあまりシャボン玉に使わない道具を使って遊びます。



さわれるシャボン玉。子どもに軍手をはめてもらい、普通の割れてさわることのできないシャボン玉にさわることができます。



シャボン玉にさわれたよ。下からそーっとさわると割れないよ。



大きなトンネルができた！



大きなシャボン玉。シャボン玉の中に入る体験ができます。

Topics

総合教育棟（通称・DRI棟）が完成

幸町キャンパス内に整備していた総合教育棟（通称・DRI棟）が今年5月に完成し7月16日に開所式を行いました。開所式には関係者約120名が出席。寛学長の挨拶に続いて、文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部長の平井明成様、香川県知事の浜田恵造様から祝辞をいただきました。基調講演では吉田秀典副学長と教育基盤センター創造教育推進部門の石井知彦部門長がそれぞれ「DRI教育とは」「DRIイノベーター養成プログラム」と題して講演。その後、「経済政策」「ロジカル思考演習」「まちづくり論」をテーマに行われた3つの授業と施設の見学が実施されました。総合教育棟（通称：DRI棟）は大学改革の目標

である新たな価値創造のためのDRI教育を推進する拠点施設となります。

「DRI教育」とは

地域活性化の中核的拠点としての機能を持つ大学には、地域社会における課題の解決や新たな価値を創造できる人材の育成が求められています。人びとが望むことを達成するためのイノベーションを創出する「デザイン思考（D）」、レジリエンスやセキュリティに資する「リスクマネジメント（R）」、専門分野を超えて数理・データ分析を行う「インフォマティクス（I）」に係る教育が期待されています。上記の3つを統合した能力の育成を、香川大学では「DRI教育」と呼んでいます。



除幕式（左から今井田理事、寛学長、平井部長、浜田知事）

「瀬戸内国際芸術祭」初参加 2019夏・秋会期で「演劇でみる小豆島のカタチ」を公演

過去・現在の小豆島を紐解き、未来の小豆島を演劇を通して考察。創造工学部の柴田悠基研究室と演出家の豊永純子地域連携コーディネーター、香川大学や小豆島の高校生、小豆島内外の有志による「香川大学 × 小豆島夢プロジェクトチーム」が企画しました。小豆島中央高校の生徒から聞き取った話も反映させて物語を作り、小豆島にある300年余りの歴史を持つ中山と肥土山の農村歌舞伎舞台（国指定重要有形民俗文化財）で上演しました。出演者はオーディションで選ばれた小豆島内外の方たちや、香川大学の学生・教職員。夏公演「トラと呼ばれたサル」は、小豆島で暮らす女子高生と、悲しい過去を背負った男

性が出会い、それぞれの未来を考え一歩を踏み出す物語です。

秋公演「蛙の池の今昔物語」は、江戸時代に水不足に悩む肥土山の住民を助けようと蛙子池の築造に尽力した地元の偉人・太田典徳にスポットを当て、10歳の典徳が300年前から現代へタイムスリップするストーリー。

香川大学の学生は、美術や音響など舞台制作の裏方としても参加し、全学をあげて取り組みました。

農村歌舞伎舞台保存会や自治会の皆様にもご協力をいただき、夏・秋公演で、延べ約830名が来場。大盛況のうちに終了することができました。



夏公演・中山農村歌舞伎舞台公演「トラと呼ばれたサル」8/24・25



秋公演・肥土山農村歌舞伎舞台公演「蛙の池の今昔物語」9/28・29

イングリッシュ・カフェからグローバル・カフェへ

学生と留学生の交流の場として2016年に設立したイングリッシュ・カフェ。今年4月に、名前を「グローバル・カフェ」と変更し、学生や教職員だけでなく、地域の皆様にも、多言語学習・異文化交流の機会を提供しています。本年度は英語の学習を中心に、中国語・フランス語・スペイン語・韓国語等の言語ク

ラスを開講。今後はネイティブスピーカー等による会話指導や、留学生と一緒に受けられる授業、多彩なイベントの開催を通じて、語学力を高め異文化理解を深めるプログラムを提供していきます。多くの方々に気軽に訪れていただけるグローバルなコミュニティ作りを目指します。



アカデミック・フランス語初級講座。